

INSIDER
GUIDES
from GoUSA

公民権歴史ツアー

テネシー州 - ミシシッピ州 - アラバマ州 - ジョージア州

公民権歴史ツアー



テネシー州ナッシュビルからヘニングおよびメンフィスへ
メンフィスからミシシッピ州オックスフォード、サムナー、マネーおよびジャクソンへ
ミシシッピ州ジャクソンからフィラデルフィアおよびアラバマ州タスカルーサへ
アラバマ州タスカルーサからセルマおよびモンゴメリーへ
アラバマ州モンゴメリーからタスキーギーおよびジョージア州オールバニーへ
ジョージア州オールバニーからミッドウェイおよびサバンナへ
ジョージア州サバンナからアトランタへ
ジョージア州アトランタからアラバマ州アニストンおよびバーミンガムへ
アラバマ州バーミンガムからアラバマ州スコッツボロ、およびテネシー州ナッシュビルへ

3 時間 3 分 / 341 キロメートル
2 時間 56 分 / 337 キロメートル
2 時間 42 分 / 299 キロメートル
1 時間 50 分 / 166 キロメートル
2 時間 50 分 / 251 キロメートル
3 時間 37 分 / 361 キロメートル
3 時間 31 分 / 399 キロメートル
2 時間 9 分 / 237 キロメートル
2 時間 40 分 / 308 キロメートル

ロレイン・モテル(Lorraine Motel)を囲んで建設された国立公民権博物館(National Civil Rights Museum)を皮切りに、メンフィスの公民権運動の歴史を辿りましょう。人種別に座席を分けられたバスで白人に席を譲ることを拒否したローザ・パークス、人種分離を定めたジム・クロウ法、14歳のエメット・ティルの殺害とセルマのデモ行進といった、公民権運動史の重要な出来事について学びます。展示の締めくくりは、もちろんロレイン・モテルの306号室。1968年4月4日、公民権運動の指導者マーティン・ルーサー・キング・Jrがバルコニーで殺害された当時の部屋が再現されています。メンフィスに来たら必ず訪れたいのがビール・ストリート(Beale Street)。かつてはアフリカン・アメリカンの文化の魂が宿った地区であり、現在はライブミュージックとすばらしい食事を楽しめるエンターテインメントの中心地となっています。スタックス・アメリカン・ソウル博物館(Stax Museum of American Soul Music)は、教会のゴスペル音楽から、熱気あるアンセムにいたるまで、公民権運動で闘う人々に勇気を与えてデモ行進を支えたあらゆる音楽を称えています。スタックス・レコーディングスタジオ(Stax Recording

Studios)は、オーティス・レディングやアイザック・ヘイズといったアフリカン・アメリカンのアーティストを最初に雇用したスタジオであり、ブルースやゴスペル・ミュージックの発表の場を与え、アーティストのキャリアを後押ししたことで有名になりました。メンフィスでの公民権運動の歴史を巡るツアーには、ビール・ストリート・バプティスト教会(Beale Street Baptist Church)も外せません。1800年代後半に解放された奴隷の手で建設された教会で、公民権運動の時代には指導者たちの重要な会合の場となりました。ザ・フォー・ウェイ(The Four Way)では、カントリ・フライド・ステーキやナマズのサンドイッチ、スイートポテトパイを添えたカブラ菜など、心のこもったソウルフードを楽しみましょう。1940年代、このレストランには多くの公民権運動家の会合場所となっていた他、スタックス・レコーディングスタジオに近かったことから、B.B.キングやアレサ・フランクリンといった著名なミュージシャンも集っていました。

宿泊地:メンフィス





テネシー州メンフィス

テネシー州メンフィスからミシSSIP州オックスフォード、サムナー、マナーおよびジャクソンへ

●●●●●●●●●● 2時間 56分 / 337 キロメートル

4 日目

メンフィスから南へ約 90 分、ミシSSIP大学オックスフォードキャンパス (Oxford campus of the University of Mississippi) に立ち寄り、オックスフォードの住民ロッド・ムーアヘッドが建立した公民権記念碑を訪ねます。この銅像は、1962年にアメリカ最高裁判所で人種差別の申し立てが認められ、アフリカン・アメリカンとして初めて大学への入学が許可されたジェームズ・メレディスの姿をかたどっています。ジョン・F・ケネディ大統領が31,000人の軍隊を展開して抗議行動を鎮圧し、大学に到着したメレディスを守りました。メレディスは後に理学士号を取って大学を卒業しました。人種差別と黒人の選挙への参加を阻止しようとする脅迫に抗議して、メレディスが一人で歩いていこうと計画した、1966年の「恐怖に抗する行進」の道りを、ジャクソンへのドライブでたどっていきます。ヘルナンドの近くでは、2日目にメレディスが白人のスナイパーから3回狙撃されたことを物語る歴史的な目印が残っています。メレディスが回復するまでに、15,000人を超える支援者が行進に参加

し、20日後に州都ジャクソンで彼を出迎えました。マナーのプライアント食料品店 (Bryant's Grocery & Meat Market) は、今では廃墟だけが残っています。イリノイ州シカゴから親戚のもとを訪れていた14歳のエメット・ティルが、1955年、キャンディを買いにこの店に立ち寄り、21歳の白人の店主、キャロライン・プライアントに向けて口笛を吹いたといつとがめられました。プライアントの夫と彼の腹違いの兄弟はエメットを誘拐し、殴り、射殺して、遺体をタラハシー川 (Tallahatchie River) に遺棄しました。エメットの母は、この暴力の凄惨さを世間に示すため、棺のふたを開けたまま葬儀をしようと主張しました。それに続いて巻き起こった世間の非難は、公民権運動を大きく前進させました。サムナーに向かい、この殺人事件の公判が行われ、2人に無罪判決が下されたタラハシー裁判所 (Tallahatchie Courthouse) を見学します。ジャクソンから2時間ほどの運転で到着します。

宿泊地: ミシSSIP州ジャクソン

5 日目

ジャクソンで、公民権運動に関する豊かな歴史を学びましょう。まずはミシシッピ公民権博物館 (**Mississippi Civil Rights Museum**) から。2017 年に開館し、ミシシッピ州での公民権運動の闘争を詳細に伝えています。抗議者たちやデモ行進のアーカイブフィルム、1963 年にメドガー・エヴァース殺害に使われたライフルなどの品々を見てみましょう。全米黒人地位向上協会 (**NAACP**) の地方書記だったエヴァースの家は復元され、メドガー・エヴァース・ホーム博物館 (**Medgar Evers Home Museum**) となっています。ジャクソンの北へ向かい、トゥーガル大学 (**Tougaloo College**) を訪問しましょう。この歴史的な黒人向けの大学は公民権運動の支援の中心地で、ジャクソンでの企業のボイコット、人種隔離に対する反対行動、平和的な座り込みなどが起こりました。ラマー・ストリート (**Lamar Street**) で復元されたグレイハウンド (**Greyhound**) のバス停は、1961 年、27 のライダーが人種隔離に従わずに連行されたことを受けて、南部全体で巻き起こったフリーダムライド運動のきっかけとなった場所でした。

宿泊地: ジャクソン

ミシシッピ州ジャクソンからフィラデルフィア およびアラバマ州タスカルーサへ

● ● ● ● ● ● 2 時間 42 分 / 299 キロメートル

6 日目

北東へ 90 分ほど運転すると、フィラデルフィアに到着します。ここでは 1964 年、3 人の公民権運動家が殺害されました。1 人はアフリカン・アメリカンの男性、2 人が白人男性でした。これはミシシッピ・バーニング殺人事件として知られています。このニュースが全米を駆け巡ったことが、1964 年公民権法成立の最後の決め手となりました。続いてタスカルーサへ向かいましょう。1963 年、アラバマ州知事ジョージ・C・ウォレスが、2 人の黒人の学生の入学を阻止するために、この街にあるアラバマ大学 (**University of Alabama**) の入り口に立ちました。大学での人種隔離を継続するという自らの約束を守ると決めていたのです。ジョン・F・ケネディ大統領が介入し、軍隊を派遣して学生を守り、手続きをさせ、南部の人種隔離主義者に対してメッセージを発しました。「スタンド・イン・ザ・スクールハウス・ドア」として知られるこの事件によって、アラバマ大学のフォスター・オーデトリウム (**Foster Auditorium**) は 2005 年、国定歴史建造物に指定されました。

宿泊地: タスカルーサ

**INSIDER
GUIDES**
from GoUSA



ミシシッピ州ジャクソンのダウンタウン

アラバマ州タスカルーサからセルマおよびモンゴメリーへ

● ● ● ● ● 1時間 50分 / 166 キロメートル

7日目

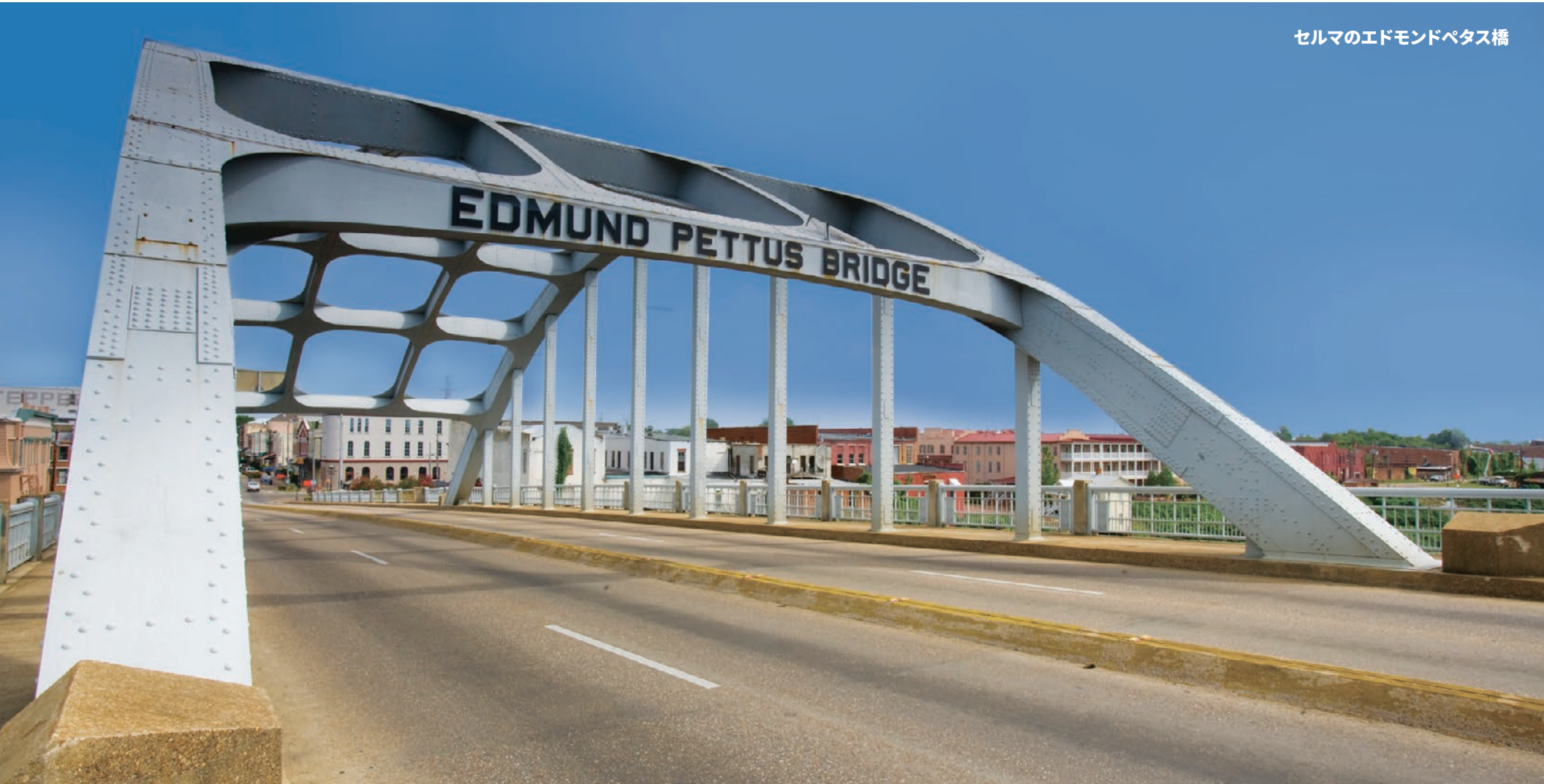
南へ 90 分運転すると、セルマに到着します。ここは 1965 年、投票権を求めるデモ行進の出発地点となりました。3月7日、600人を超える行進者たちが、地元の警察当局や自警団ギャングからの暴力を受けました。メディアは全米に向けてこの「血の日曜日」と、行進の2日後に1人の運動家が死亡したことを伝え、これをきっかけに何千人もの支援者たちがセルマにやって来ました。リンドン・B・ジョンソン大統領は、国営テレビで行進者への支援を訴え、投票権法の成立を促しました。3月21日、アメリカ80号線を歩く8,000人の行進者を軍隊が保護しました。彼らは3日後にモンゴメリーに到着し、50,000人を超える支援者たちに出迎えられました。このルートは1966年に国立歴史トレイルに指定されました。モンゴメリーはまた、1955年、人種によって座る場所が決まっていたバスの中でアフリ

カン・アメリカンの女性が席を譲ることを拒否した事件を通じて、一般の人の心に刻みつけられてきました。当時の市バスは、ローザ・パークス博物館 (**Rosa Parks Museum**) で目にすることができます。モンゴメリーは公民権運動の最前線でありつづけました。マーティン・ルーサー・キング・Jr が説教を行い、モンゴメリーでのバスのボイコットを組織したデクスター・アベニュー・キング・メモリアル・バプティスト教会 (**Dexter Avenue King Memorial Baptist Church**) もあります。教会の地下室の壁画には、人種間の平等のために立ち上がり、志半ばで1968年にメンフィスで殺害されるまでのキング牧師の一生が描かれています

宿泊地:モンゴメリー

INSIDER
GUIDES
from GoUSA

セルマのエドモンドパタス橋





サバンナのワームスロー州立史跡

ジョージア州サバンナからアトランタへ

●●●●●●●●●● 3 時間 31 分 / 399 キロメートル

10~11 日目

内陸部を約 4 時間かけて移動し、マーティン・ルーサー・キング・Jr の生誕地アトランタへ、そして彼が眠るキング・センター (**The King Center**) を訪れましょう。到着したら、新設された公民権と人権センター (**Center for Civil and Human Rights**) を訪ねましょう。アトランタの公民権運動の歴史を知るなら、ここから始めるのが一番です。マーティン・ルーサー・キング・Jr のコレクションの他、現代の人権問題に関する展示も見ることができます。ダウンタウンに向かい、ジョージア水族館 (**Georgia Aquarium**)、ワールド・オブ・コカ・コーラ (**World of Coca-Cola**)、そしてセンテニアル・オリンピック公園 (**Centennial Olympic Park**) といった名所を巡りましょう。この国際的な都市は、素晴らしいレストランや活気あるナイトライフ向けスポットがいっぱいです。

キング・センターを皮切りに、アトランタの公民権運動の豊かな歴史をたどりましょう。このセンターには、展示ホール、マーティン・ルーサー・キング・Jr の生家、そ

して南部で初めて人種隔離が廃止された消防署である第6消防署 (**Fire Station No. 6**) が含まれています。エバニーザー・バプティスト教会 (**Ebenezer Baptist Church**) でキングの説教の一部を聞き、「見よ」と書かれたモニュメントと池のあるワールド・ピース・ローズ・ガーデン (**World Peace Rose Garden**) で静かに考えごとにひたりましょう。永遠の炎 (**Eternal Flame**)、そしてキングと妻のコレッタが眠る遺体安置所を訪れ、国際公民権の殿堂 (**International Civil Rights Hall of Fame**) を散策しましょう。公民権運動の指導者や開拓者たちの足跡の上を歩くことができます。スイート・オーバーン地区 (**Sweet Auburn District**) のエイペックス博物館 (**APEX Museum**) で時間を過ごしましょう。この博物館では、映像や写真、様々な品物を通じて、アフリカン・アメリカンの足跡を紹介しています。

宿泊地: アトランタ

INSIDER
GUIDES
from GoUSA

12日目 - ジョージア州アトランタから、アラバマ州アニストン、アラバマ州バーミンガムへ

●●●●● 2時間9分 / 237キロメートル

12日目

アトランタを出たら、西へ向かう道をたどりましょう。人種平等会議のメンバーが1961年にグレイハウンドバスに乗り込み、フリーダムライド運動の一環としてバス座席の人種隔離に抗議した時に通った道です。アラバマ州アニストンでは、暴徒がバスを襲撃し、タイヤを切り裂いて、街の外でバスを強制的に止めてしまいました。バスには火がつけられ、逃げ出した乗客は暴行を受けました。この場所にはフリーダムライダーの国立記念碑 (**Freedom Riders National Monument**) が建立されています。西へ1時間ほど運転すると、次の目的地のバーミンガムです。公民権運動の中心地であり、プロジェクトC、つまりバーミンガムキャンペーンがよく知られています。食堂での非暴力的な座り込み、ボイコットや行進で参加者たちは激しい暴力を受け、それゆえにバーミンガムの運動は公民権運動の重要なターニングポイントとして受け止められました。現在は、バーミンガム・シビル・ライツ・インスティテュート (**Birmingham Civil Rights Institute**) が、平等を求める闘いの中でバーミンガムが果たした役割を伝えています。道を挟んで向かい側、ケリー・イングラム・パーク (**Kelly Ingram Park**) では、非暴力で抗議を行う人々に放水ホースや犬が向けられました。現在では公民権運動のリーダーをたたえる銅像やモニュメントが並んでいます。近くにあるシビル・ライツ・ナショナル・モニュメント (**Civil Rights National Monument**) は2017年に完成し、アメリカの重要な歴史の一部である公民権運動を記念しています。美しいアパラチア山脈のふもとにあるバーミンガムをさらに探索しましょう。アウトドアレクリエーションや食事、エンターテインメントスポットが周りにいくつもあります。

宿泊地: バーミンガム

12日目 -アラバマ州バーミングラムから、アラバマ州スコッツボロ、テネシー州ナッシュビルまで

●●●●●●●● 2時間40分 / 308キロメートル

13日目

次の目的地スコッツボロは、北に2時間ほど移動したところにあります。1931年、チャタヌーガからテネシー州メンフィスに向かう南部鉄道の貨物列車で、2人の白人の少女に性的暴行を加えたという虚偽の罪を着せられ、9人の黒人の少年たちが告発されました。その後の裁判、有罪判決、再審、評決、少年たちに加えられたあからさまな不正義は、公正な裁判の権利を保障するためのさまざまな法制度の改革につながりました。スコッツボロ・ボーイズ・ミュージアム・アンド・カルチュラル・センター (**Scottsboro Boys Museum & Cultural Center**) は、133年前に建てられたジョイス・チャペル・ユナイテッド・メソジスト教会 (**Joyce Chapel United Methodist Church**) を改装したもので、公民権運動の始まりとなったこの少年たちの裁判に関する文書やさまざまな品々がおさめられています。2週間近くにわたる旅はこれで終わり。3時間のドライブでナッシュビルへ戻しましょう。

宿泊地: ナッシュビル



テネシー州ナッシュビル

アメリカ旅行のヒントやアイデアが満載のGoUSA.jp をご覧ください。